

トピックス

- 救急センターが新しくなりました
- これからの予定
- ご質問にお答えします
- 7:1看護について

- DPC導入について
- ニュース
 - ・ 自衛消防隊が優勝
 - ・ 医療連携センター
 - ・ 患者相談窓口

11月30日、1番館1階の旧・外来部分を改修して、新しい救急センターが開設されました。この救急センターには、救命救急センターと救急外来の二つの部門が設けられています。救命救急センターはきわめて重症な患者さん（3次救急患者と言います）の治療にあたり、救急外来は一般の救急患者さんの診療にあたります。従来の救急センターは、昭和56年1番館建築時のままであり、その後急速に救急患者さんが増加した現状



救急センターが新しくなりました

からみれば、たいへん狭いものになってしまいました。そのため、地域のみなさまのご期待に十分応えられないという、病院としてたいへん心苦しい状況が続いていました。そこで、4年前、救急センターの大幅な拡張を計画し、あわせて外来診療部門も整備することになりました。外来は新しい建物として、この3月にオープン。その後旧外来部分の救急センターへの改修が、このたび完成いたしました。



救命救急センター部分では、重症患者さんの初期治療室・病棟（ICU、HCU）のいずれも、面積的にも大幅に広くなり、設備的にも格段に充実しました。また一般救急外来の診察室を増やし、診察スペースもひろくなりました。待合スペースも広くなり、そのアメニティ向上を心がけましたが、同時に、「病院らしくない」「ホテルのようだ」と言われていた旧外来の温かい雰囲気を残すことにも努めました。

今回の改修により、当院は、この地域のみなさまの命と健康を守る地域医療支援病院として、いっそう質の高い救急医療をご提供してまいります。





これからの予定

今回の、救急センター病棟部分の移転に伴い、1番館クローバー3階の旧ICU・HCU病棟の改修を行います。新しいクローバー3階病棟は、脳卒中患者さんのための集中治療病床（SCU）などが新たに設けられます。3月末には、新しい病棟がお目見えする予定です。

改修は、他にも行われています。目立たないところですが、地下1階では給食調理室の改修が行われていますし、さらにこれから、旧救急外来の改修、放射線撮影室の増設、外来治療室の整備など、来春までは工事がつづきます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

また、来春には売店も1番館に移転し、その跡にレストランが開店します。2年前のレストラン閉鎖以来、院内の喫食施設が減少し、たいへんご迷惑をおかけしてまいりましたが、今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。



ご質問にお答えします

・情報ラウンジはいつになったら開くのですか？

外来棟（ローズ）3階に、患者さんのための情報ラウンジを設けてありますが、本格オープンが遅くなってしまう、申しわけありませんでした。このたび開設に至りました。

このラウンジでは、医療に関する情報を得られる書物をご用意します。しかし、情報化時代である現在、多くの情報が個人的に得られることから図書室のように多数の書物を置くことはせず、基本的

な情報が得られる書物を厳選して置くことにいたしました。

一方、医療に関する情報を得られるコンピュータ端末をご用意いたしました。係員がおりますので、操作などがお分かりにならない方はお尋ねください。



7:1 看護について

当院は、平成18年7月より7対1入院基本料を取得しました。

これは、一般病棟入院基本料の看護職員配置基準のことで、これまでよりも看護師が多く配置されることになりました。これまでは看護職員1名が10人の患者さんを受け持っていたのですが（10対1看護と言います）、看護職員1名が7人の患者さんを受け持つことになりました。看護職員を手厚く配置することで、看護職員の過重労働を解消し、安全で質の高い医療・ケアを提供することが可能になります。

6月1日の入院分から、入院費の計算方式が変わりました。

DPC導入について

これまでの計算方法＝出来高払い方式

診療内容(検査、処方、注射、手術、レントゲン、入院料×日数、・・・)ごとの料金を計算して合計したものの金額が入院費となっていました。

新しい計算方法＝包括払い方式

包括部分(診断群分類※ごとに定められた1日あたりの診療費×日数×病院ごとの係数)

+

出来高部分(手術、輸血、胃カメラなど大きな検査、リハビリなど)

- 一部負担金の支払い方法や、高額療養費制度の取り扱いは変わりません。
ただし、病状の経過や治療の内容によって診断群分類が変更になった場合には、包括部分の一日あたりの診療費が変わりますので、退院時などに前月までの支払額との差額の調整を行うことがあります。
- 診断群分類にない病気の場合には、これまで通りの出来高払い方式となります。
労災保険、自費診療、治験入院なども従来通りの計算方法となります。

ご不明の点は、医事第一課にお尋ねください。

※診断群分類とは、たくさんの病気を1440の診断群にまとめたものです。患者さんの病気が、このいずれかにあてはまれば包括払い方式の対象となります。



武蔵野赤十字病院本館正面

開院時 旧正面玄関(昭和24年11月)



正面玄関(昭和40年)

二
ユ
ー
ス

・自衛消防隊が優勝

武蔵野市の自衛消防隊訓練審査会で、当院の自衛消防隊男子隊が優勝しました。この大会は、市内二十数か所の事業所がふだんから行っている消防訓練の成果を競うものです。当院は、毎年上位入賞を果たしていますが、このような活動も皆様の安全をお守りするための大切な活動です。



・医療連携センター



1番館1階、エレベータ前に医療連携センターが開設されました。これまで、いくつかの部署に分かれていた地域の医療機関との連携に関する業務を、組織的にも場所としても一ヶ所にまとめました。このことにより、当院と地域医療機関との連携をさらに深めることが可能になりました。地域医療支援病院として、地域の先生方とともにみなさまにより良い診療をご提供するために、今後医療連携はますます重要なものとなってまいります。また、医療費支払いなどに関する福祉相談、転院などについての患者様からのご相談も承っておりますので、お困りの際にはお気軽に声をおかけください。

・患者相談窓口

5番館1階『患者相談窓口』では、患者さん・ご家族からの、ご質問、ご意見、ご要望等や、セカンドオピニオン、カルテ開示の申込みを承っております。また、10月より『がん相談支援センター』を併設し、がんに関するご相談も伺っております。ご相談には、他部門と協力して速やかに対応しております。皆さまから頂いたご意見は病院の貴重な財産となりますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



武蔵野赤十字病院 基本理念

「愛の病院」4つの愛

病む人への愛

同僚と職場への愛

地域住民と地域への愛

地球、自然、命への愛

+ 武蔵野赤十字病院

〒180-0022 武蔵野市境南町1-26-1

0422-32-3111

<http://www.jrc.musashino.or.jp>

印刷：ムサシプレス株式会社